

暴 風

物はみなつばさ生ひたる心地して空飛ぶ風のおそろしきかな
 國々のあらしあらしのおどろけは後に聞くさへ驚ろかれぬる
 野わけせし浅茅が中にこふるぎのあはれなくなり細聲にして
 花の野を過ぐる野分けの末見れば秋のちりゆく心地こそすれ
 すさまじく荒き風かなかはら飛び木だちもいほも傾きやせむ
 柿の實の色づくころに野分けして空しく枝を折りてけるかな
 すさまじきあらしは晴れて波間よりそらにかけたる虹の大橋
 たら乳根の子の爲めたちし賤機ややがてこのころの錦なるらむ
 大丈夫の鶴もなしとなげきしはたをやめこしもおもはえぬ哉
 位山さみがふまずばたま鉢のみらなさくにとなりやはてまし
 雲の上にすまきなりても世を照らす影はかはらぬ片われの月
 神さへにやとるとみえし姫まつの烟をいかでのがれざりけむ
 える知らぬ小草摘みためて秋山のふもとの道を夜と二人ゆく
 狩り暮らし山守が宿に一夜ねてすすきを登るつきを見しかな
 つきさよみ神出たしあそぶらん野邊のくさむら露玉をししく
 打ち連れて行く人あらば一夜をも明さまほしき秋の野邊かな
 桐の葉のおつる音にもたゞならず驚ろかざるゝあきの暮かな

小 出 榮

梅 村 宣 雄

赤 堀 信 成

大 野 泰

荒 山 徳 隣

増 山 三 雪 子

口 下 静 子

祝 所 敦 子

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

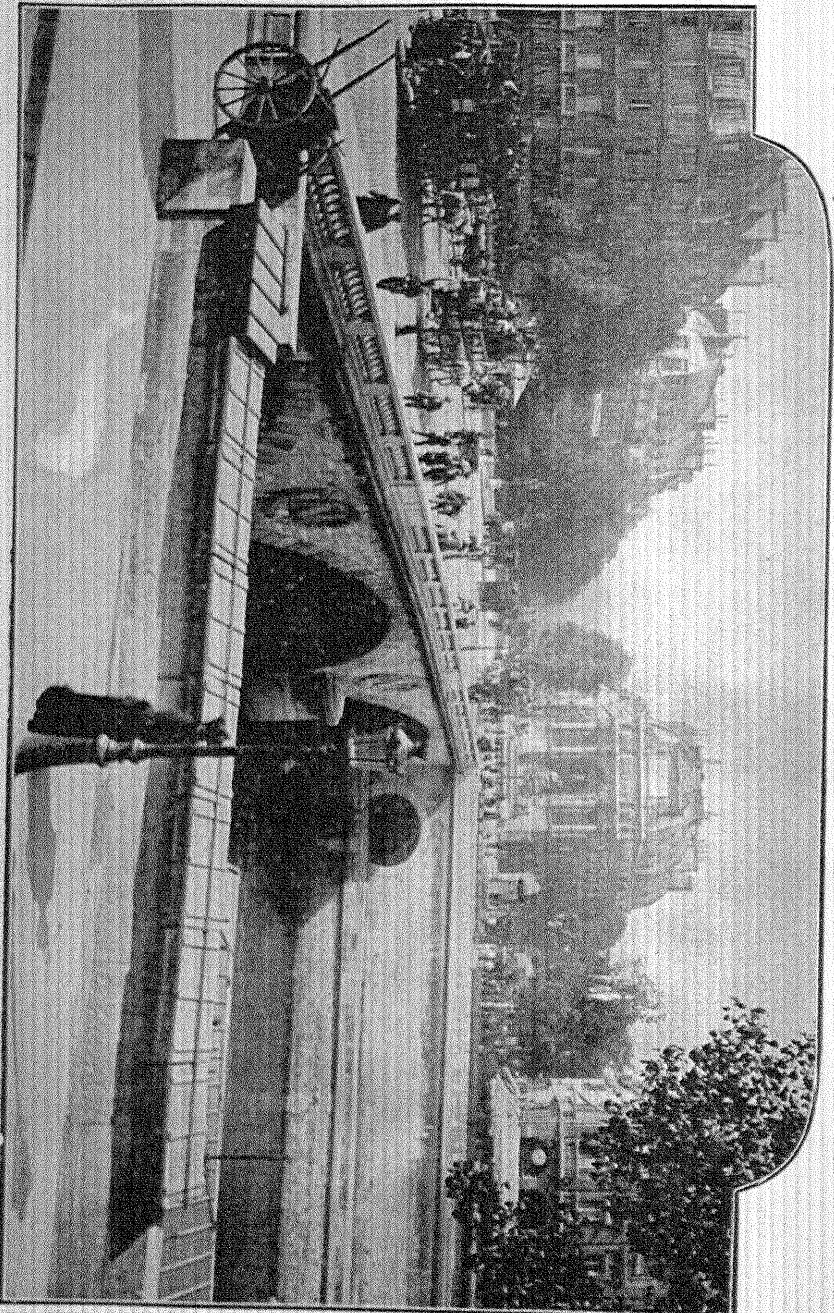
同

同

同

街 ヲ ヒ ヲ ミ ヲ カ 里 巴 國 佛

THE STREET SAINT-MICHEL, PARIS



(佛 街 十 番 號)